

．．．．．「史料紹介コーナー」．．．．．

平成26年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

《 ^{ふくだ まさたろう} 福田 雅太郎 1866～1932年 》
 一長崎県出身の陸軍大将



結婚願 (登録番号：陸軍省-肆大日記-M27-9-61)

福田雅太郎大将は、明治20年7月、陸軍士官学校(旧9期)を卒業後、歩兵第24旅団長、第5師団長、台湾軍司令官などの要職を歴任しました。この史料は、当時第1師団副官であった福田中尉の結婚願いに、大山巖陸軍大臣が許可を与えた「福田歩兵中尉結婚願之件」(明治27年9月6日付)です。当時陸軍軍人が結婚をするには、「結婚願」に相手の「身元証書」を添付し、「将官並二同等官ニ在テハ勅許ヲ仰キ准士官以上ニ在テハ陸軍卿ノ許可」が必要でした。また大尉並びに同等官は460円、中少尉並びに同等官は600円、准士官、下士は80円を「家計保護金」として納めることになっていて、「上長官ニ昇進セシ時」または「本人死没スルカ又ハ現役ヲ離ルル時」などに還付されました(明治14年陸軍省達甲第13号「陸軍武官結婚條例」、左記「條例」は明治37年勅令第45号で改廃)。



偕行社記事 第589号(震災号) (登録番号：中央-偕行社記事-270)

大正12年9月1日午前11時58分、神奈川県西部を震源としたマグニチュード7.9の巨大地震(関東大震災)が発生しました。関東大震災の被害は、東京府及び神奈川県を中心に、千葉、埼玉、静岡、山梨及び茨城の一府六県に及び、死者及び行方不明者は約10万5千人に達しました。9月3日、関東戒厳司令官に親補された福田大将(9月20日以降は山梨半造大将)は、陸軍部隊を指揮して戒厳地域内の「鎮戍警備」にあたります。この史料は「偕行社記事 第五百八十九号(震災号)」で、震災直後から福田大将が関東戒厳司令官であった9月20日頃までの被災状況並びに陸軍の活動(警備、補給、交通、航空、情報、衛生など)が、「関東戒厳司令部情報」(第1号～第24号)や「東京市附近警戒救護食糧品配給所位置要図」などの各種要図とともにまとめられています。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影こともない、一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。
 防衛研究所企画部企画調整課
 専用線：8-67-6522、6588 (史料紹介コーナーのみ6668)
 外線：03-3713-5912
 FAX：03-3713-6149 ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>